



## 猪高の森自然観察だより 2025・8 月号

観察日時：2025 年 8 月

天候：8 月も熱帯夜、猛暑日が続いています。

参加者：定例会はありません

(左上の画像はヒイロタケの仲間)

この地域は極端に降水量が少なくなっていますが、北海道や東北地方、九州では被害が出るほどの大雨になっています。ここ数年で夏の天候状況が変わりつつように思います。

この夏は、最高気温、猛暑日の日数、熱帯夜の連続日数など、各地で観測以来のあまりうれしくない記録を塗り替えています。(8月31日の名古屋の最高気温は 40.0℃でした。)

自然の季節のカレンダーにも変更があるようで、7月のうちにツクツクボウシの声が聞こえて、夏の宿題を慌ててやり始める目安にならなくなっている場所があると聞いています。私たちの生活サイクルも変化しなくてはいけない時期なのではないでしょうか？

(ツクツクボウシは 7 月下旬～9 月上旬が鳴く時期にあたり、ピークは 8 月下旬～ です。)

### ○植物の宝石 プラント・オパールって何？

「プラント」は植物、「オパール」は、「二酸化ケイ素(SiO<sub>2</sub>)と水を含む鉱物のひとつ」とのこと。プラント・オパールは「植物ケイ酸体」と呼ばれ、「植物が葉の表皮細胞に作るガラス質の石」とのことです。

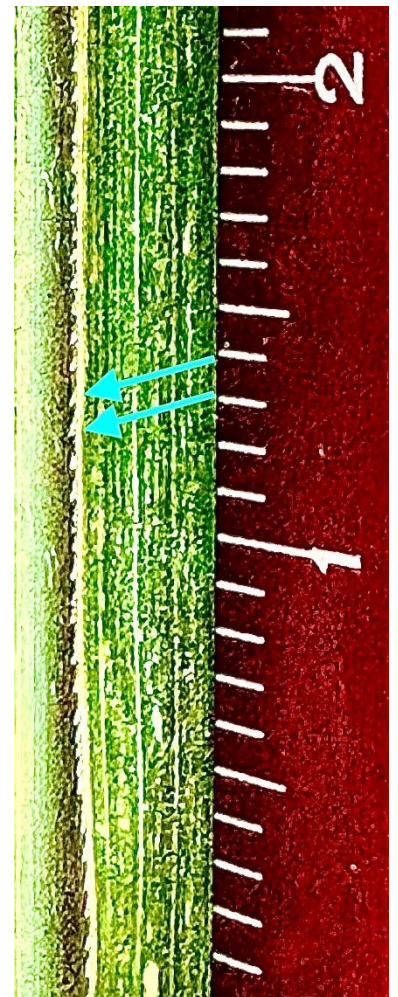
名前はともかく、私たちの身近にあり、特にイネ科やカヤツリグサ科の葉に作られています。ススキの俗称が「包丁草」とか「手切り草」と呼ばれるのもこの所以で、草むらなどで、不意に手を切ってしまうのも、葉の縁にこの「プラント・オパール」がのこぎりの刃のように、並んでいるからです。

右の画像はススキの葉の縁を拡大したものです。1 目盛りは 1mm で縁のギザギザは肉眼ではほとんど分かりません。

ちなみにススキの葉は根元から葉先に向かって縁を撫でると、スムーズに撫でられますが、葉先から根元に向かっては引っかかってしまいます。刃の向きが、外に向かっていているからです。

身近では、砥石の代わりに使う「トクサの茎」ややすりの代わりに使う「ムクノキの葉」もこのプラント・オパールを利用しています。

プラント・オパールは植物ごとにその形が違い、考古学の世界でも、その時代の植物を特定するのに役立っているとのこと。





## ○クマザサの「熊笹」は間違い！



今年新しく出た葉



ひと冬越すと「隈」が表れる

実は、長い間、漢字では「熊笹」と思い込んでいました。でも、PC を開けると「熊笹」の文字が乱立しています。「熊が食べるであろう笹」の意味で使われているので、植物の正式和名とは関係ないと言われればそれまでなのですが、漢字の和名は「隈笹」です。

左の画像は今年出た若い葉の画像、右はひと冬越した葉です。冬になると、葉の周りに枯れが入り、縁取りのように「隈(もののすみ)」が表れるので、「隈笹」でした。

## ○グリーン広場で見つけたものは！

緑地南部のテニスコート近く、グリーン広場の林にありました。

丸い糞のようなものが、数珠のようにつながったようになっています。結構硬くて棒でつついても、崩れるようなことはありませんでした。現場では、これが 2 つ見つけることが出来ました。

調べていくとどうも園芸上「イモカタバミ」と言われている花の根っこらしいです。

標準和名は「フシネハナカタバミ(節根花片喰)」で、現在、北海道から沖縄まで幅広く栽培されているとのことです。

日本への渡来は第2次世界大戦後で、原産地は南アメリカのアルゼンチン北部、ブラジル南部、ウルグアイなどの標高の比較的高いところです。

花が咲くと下の画像のように可愛い花を咲かせますが、現在は、気温が高くて休眠していると思われました。



元来、春から秋にかけて開花しますが、最近は夏は半休眠して葉も無くすとのことです。





## ○セミも夏休み？高温障害？

皆さん！今年の夏に「セミの声は少ないこと」に気が付きませんでしたか？

勿論、種類によって鳴く時間帯も異なりますし、羽化する時期も異な

ります。それでも、少なすぎると感じませんでしたか？

専門家は2つの要因を指摘しています。

### ① 羽化の失敗

少雨のために土が硬化し、幼虫が地面を掘り進めず、又セミの羽化には通常 18～23℃の安定した地温が必要とされていますが、今年は短い梅雨のうえに直ぐに高温になってしまい、正常な羽化が行われなくなった可能性がある。

### ② 異常な高温で活動が抑制

セミは30～33℃前後で活動が活発になり、盛んに鳴くとされています。しかし、35℃以上の極端な高温になると、体力を消耗してしまい、鳴くことをやめてしまうこともある。

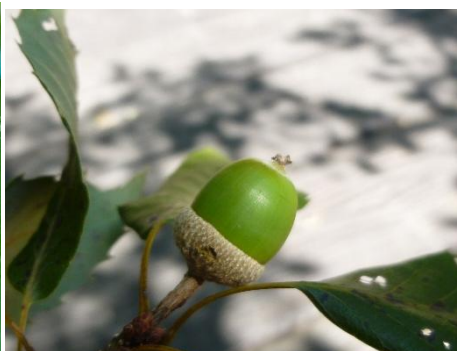


今後も毎年のように暑い夏が続くと予想されています。セミの生活サイクルにも変化が起こってくるかもしれません。

## ○緑地で観られたいろいろ



ヘクソカズラの花



ハイイロチョッキリの落とした  
コナラの枝先



キリの若い実



オオバナイトタヌキモの花



ミョウガの花



シナマンサクの実





色とりどりのイソノキの実



暑さと乾燥のため (?)  
ゴンズイの実



イヌビワの実



ヤマノイモの雄花



タカサブロウの仲間の花



マメコガネの交尾



クサギの花



イナゴ (?) の幼虫



シイの若い実



オンブバッタの幼虫



ヨウシュヤマゴボウの花



ヤブランの花



チュウゴクアミガサハゴロモ



ツバキの若い実



マルバツユクサの花と葉

次回観察会は9月28日（日）森の集会所集合 9：30 ～ です。

（雷ナウキャストにて雷発生または熱中症が起こる危険のある場合は中止）

名東自然倶楽部のHPでは毎月の猪高の森の自然観察会の紹介をしています。

<https://sizen.ciao.jp/>から是非ご覧になってください。

（右上の自然観察グループをクリックしてください。）